

締め一杯

白河は全国的にも知られるラーメン処で、市内には100軒を超す店が点在しています。ラーメンへのこだわりを持ち、おいしさを追求する店主たちの思いを紹介します。

第6回

田楽食堂



住所：田町92
営業時間：11:00～15:00、17:00～19:00
定休日：月曜日（祝日の場合は営業）

昭和42年に初代店主の辺見ミサ子さんが、田町で「楽」しめる場所を作りたいと創業。現在は3代目店主の「一也」さんがお店を切り盛りし、来年3月で50周年を迎えます。

おすすめは辛しソタンメンで、常連客の要望から生まれた逸品です。自家栽培のニンニクをはじめとした野菜を加え、火を入れ寝かせた自家製みそが自慢です。炒めた野菜の甘さと、ピリっとした辛しみそのバランスが絶妙で、スープとコシのある自家製麺がよく絡みます。

ほかに、川俣シャモや豚肉をベースとした人気の醤油ラーメンや、定食類などのメニューも豊富です。白河ラーメンを広めるため、積極的に県内外のイベントに出店しているほか、時代やお客様のニーズに合った作り方や味を日々探究し、周りのお店と切磋琢磨しています。

「祖母が始めた田町で楽しめる場所を引き続き残していくために、試行錯誤をしながら、お客様においしかったと言ってもらえるように努力していきたい」とラーメンにかける思いを話してくれました。

人物Report

～注目のあの人を紹介～

碓井 秀明 くん

第62回白河市発明展で市長賞を受賞した碓井秀明くん（みさか小4年）。碓井くんが発明した「6種類仕分けちょ金箱」は、市内小・中学校10校から応募のあった435点の中から選ばれました。この貯金箱は、穴の大きさを変えることで、1円から500円まで6種類の硬貨を仕分けて貯金できるものです。

「普通の貯金箱だと、いろんな硬貨が一緒に入って欲しいものだけ取り出すのが大変だったので、この作品を発明しました。穴の大きさを変えることが大変でした。市長賞を受賞してうれしいです」と笑顔で話してくれました。



《白河市ホームページ》



最新の情報をチェック

《マチイロ（旧i広報紙）》



アプリで情報チェック

《白河市公式ページ》



旬な話題をチェック



「広報白河」は、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しています。